

まちづくりについて

奥山 幸洋 議員

答 積極的に取り組む



問 福祉・環境施策について、

①「子ども・子育て支援」対策は。

②2025年超高齢化社会へ向けた医療、介護、福祉施策を連携させた「地域包括ケアシステム」の構築について。

③運転免許証自主返納制度の取り組みと乗り合いタクシーの導入について。

④明和型「ヘルスツーリズム」を活かした取り組みについて。

町長 ①平成28年度から子育て世代包括支援センターを設置し、様々なニーズに対して総合的に相談支援等を提供している。

②特に、認知症対策として、平成29年度中に認知症初期集中支援チームが設置できるよう取り組んでいる。

③全75歳以上の方々と自主返納者で運転経歴証明書をお持ちの方を対象に、平成29年4月1日から、町民バス運賃を無料とする。町民バスや乗り合いタクシーなど、高齢者の移動手段の確保は今後の

大きな課題と受け止めている。

④町民・観光客の健康増進と観光の振興に一体的に取り組む、医療費削減、健康増進につながる食事メニューや体験プログラム等を開発・提供する新たな新産業の創出を目指していく。

問 町の活性化・産業振興について、

①明和町総合戦略に基づき、観光地域づくり舵取り役になる観光DMOの取り組みは。

②六次産業化の経過と今年度の取り組み、また六次産業化戦略推進ビジョンの取り組みについて。

町長 ①既存の団体や行政、民間企業なども参画して、地域の観光を考えたいく「観光DMO」の組織化が必要であり、平成30年度までの2年間で組織化に向けた取り組みを行っていく。

②平成26年度から農林水産物加工用機械の導入など6案件を支援してきた。今後も個々の相談に基づき適切に支援を進めたい。

問 防災対策について、地域の自主防災活動の組織化、また支援対策を推進し、町民の安心・安全の取り組みについて問う。

防災企画課長 引き続き、強化育成事業により推進していく。自主防災組織リーダー研修をはじめとする各種研修会の開催や、消防団との連携について検討していく。

問 教育環境の整備について、防災上の問題や少子化対策を含め町全体の将来の学校規模や学区の編成の取り組みと、その方向性がいつ頃までに示されるのか。

教育総務課長 平成29年度において、将来の小学校数や学区の再編に取り組む検討委員会を立ち上げ、協議をいたいただく、かなりの時間を要することが想定される。経過については、委員会等で報告をさせていただく。



県道側溝の整備を

問 道路整備について、

①平成26年度着工の中町・勝見外周道路の整備状況と今後の整備の考え方は。

②県道整備で伊勢小俣松阪線の道路整備の状況と今後の取り組みについて。

町長 ①外周道路の整備は、本年度で県道田丸停車場斎明線まで事業完了しその後、平成29年度より、牛葉地区まで施工する予定。

②県道整備は、毎年松阪建設部が、通学路を優先して整備しており、今後も事業推進の要望をしていく。

1年前の一般質問

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

このページの見方は

Q (一般質問の主な内容)

A (Qに対する町長などの答弁の内容)

🔄 (現在の取り組み状況や結果など)

シリーズ 第76回

その後、どうなった?

～平成29年3月定例会より～

こ A Q

医療、介護、福祉施策を連携させた「地域包括ケアシステム」の構築に向けての取り組みは。
(奥山幸洋 議員)

特に、認知症対策として、平成29年度中に設置できるよう取り組んでいる。

うなりました

地域包括センターに、認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員を平成30年1月に設置しました。